

今月のおすすめメニュー

『がむしやら1500キロ』

浮谷東次郎 著 筑摩書房 1977年

所蔵館:中央館 請求記号:53 ウ

No image

浮谷東次郎(うきやとうじろう)は1942年(昭和17年)千葉県市川市生まれ。幼いころから車やオートバイに興味を持ち、カーレーサーの道に進みますが、不運な事故により23歳でこの世を去ります。この本は、彼が中学三年の夏休みに市川市の実家から大阪までの往復1500キロを愛車のドイツ製50cc オートバイで旅行した記録を中心に、13歳から15歳までの日記や作文などをまとめたもの。大人への反発、将来への希望、女性へのあこがれ、スピードへの興味、旅の中で出会った人々への思い…。50年前の中学生がどのように自分や世界を見つめていたか興味深く読めます。 彼の著書には1960年からの2年半のアメリカ滞在をつづった『俺様の宝石さ』(筑摩書房 1985年 中央館 B289.1)もあります。

『キノの旅 – the Beautiful World – 』

時雨沢恵一 著 メディアワークス 2000年

所蔵館:中央館・勝連館 請求記号 B913.6 シ

No image

「オートバイが相棒の旅」つながりで、こちらの小説もご紹介。言葉を話す二輪車“エルメス”と銃撃が得意な少女“エルメス”が出会うのは、「人の痛みがわかる国」「多數決な国」「大人な国」など、それぞれに独特な文化や価値観をもつ国々とそこに住む人々。それぞれの国でのエピソードをつなげた短編連作形式で、各話ごとに違った読後感が味わえます。